

平成29年度

帯広市賞  
文化賞

平成29年11月3日  
帯広市教育委員会

## 帯広市文化賞受賞者



なが おか さち え  
長岡 幸枝 (79歳)

### 《受賞理由》

氏は、幼少より箏の修得に努め、高校卒業後に上京し、演奏技能の研鑽を積んで帰郷後の昭和34年に文杉あやしぎの会を創立しました。

以来、卓越した演奏技能と指導法は斯界から高く評価され、これまでに数多くの門下生を育て、後進の指導育成に努めてこられました。

また、氏は、帯広三曲協会の発足時から運営に携わり、平成15年からは会長として、小・中学校への出前演奏会や邦楽授業指導等を通じ、次代を担う子どもたちへの箏の普及、啓発にも尽力されてこられました。

このような氏の永年にわたる活動は、地域文化の向上発展に大きく寄与し、特に功労が顕著であると認められることから、帯広市文化賞を贈り顕彰するものです。

### 《略 歴》

- |             |               |
|-------------|---------------|
| 昭和34年       | 文杉の会創立        |
| 昭和46年       | 創明音楽会 大師範昇格   |
| 平成15年～      | 帯広三曲協会 会長     |
| 平成17年～平成28年 | 帯広邦楽邦舞協会 副会長  |
| 平成28年       | 帯広市民劇場賞受賞     |
|             | 創明音楽会 名誉師範昇格  |
| 平成29年       | 創明音楽会 特別功労賞受賞 |

# 帯広市文化賞受賞者



おび ひろ しん よう きん こ  
帯 広 信 用 金 庫

理事長 高橋 常夫

## 《受賞理由》

帯広信用金庫は、地元経済の振興はもとより、企業市民として地域社会の発展のため、様々な文化活動への支援を行うとともに、地元画家の作品を活用したカレンダーの発行や郷土文庫シリーズの発行、店舗でのクラシックコンサートの開催などの文化活動にも取り組まれてこられました。

また、「とち酒文化再現プロジェクト」による新たな文化の創出など、芸術文化の活動にとどまらず、幅広く地域文化の振興に向けた活動を行ってきました。

このような帯広信用金庫の永年にわたる文化振興活動は、地域文化の向上発展に大きく寄与し、特に功労が顕著であると認められることから、帯広市文化賞を贈り顕彰するものです。

## 《略 歴》

- 大正 5 年 設立（創立101年）
- 昭和 44 年～ 郷土作家カレンダーシリーズ発行
- 昭和 57 年～ 郷土文庫シリーズ発行
- 平成 22 年～ とち酒文化再現プロジェクト開始  
おびしんクラシックコンサート開催（毎年開催）  
おびしんふれあいギャラリー開設
- 平成 23 年～平成 28 年 十勝あるき之図景発行
- 平成 23 年～ 地元高校生による十勝の未来づくり応援プロジェクト開始